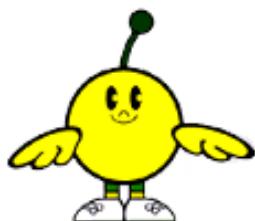


平成28年度 福島県市町村 社会教育担当者研修会



日時：平成28年9月1日（木）10:50～15:35
9月2日（金）10:30～15:40

会場：郡山市中央公民館



福島県教育委員会

平成28年度 福島県市町村社会教育担当者研修会実施要項

- 1 目的 社会教育事業推進のため、個人や社会の要請に対応した今日的課題についての専門的知識や技能習得の研修を行い、社会教育行政担当者としての資質向上を図る。
また、それぞれの市町村で活躍するボランティア実践者や地域コーディネーターの研修の場とし、地域の人才培养を図る。
- 2 主催 福島県教育委員会
- 3 期日 平成28年9月1日（木）～9月2日（金）
- 4 会場 郡山市中央公民館
〒963-8876 郡山市麓山一丁目8番4号
電話 024-934-1212
- 5 対象 市町村教育委員会生涯学習・社会教育担当者、社会教育主事、公民館主事、社会教育委員、社会教育指導員、公民館運営審議会委員、ボランティア実践者、地域コーディネーター等の社会教育に関心のある県民
- 6 研修主題 「地域コミュニティ再生の起点としての公民館」
～地域と行政を紡ぐ事業マネジメントの基本とは～

7 日程・内容等

◆ 9月1日（木）【1日目】

時 間	内 容
10:30～10:50	受 付
10:50～11:10	開講式
11:15～11:55 (40分)	事例発表I 「だがしや楽校『棚倉げんき塾』」～2年目の取組～ 講師 棚倉町教育委員会生涯学習課 生涯学習係主事兼社会教育主事 古市 裕幸 氏
12:00～13:00	昼 食
13:00～14:00 (60分)	講話 「新学習指導要領とこれからの社会教育」 講師 文部科学省生涯学習政策局社会教育課 地域・学校支援推進室放課後子ども総合プラン連携推進室 連携支援係長 鈴木 秀彦 氏
14:10～14:50 (40分)	事例発表II 「子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業 『国見町ジュニア応援団』の取組」 講師 国見町教育委員会生涯学習課 課長兼公民館長 羽根 洋一 氏
15:00～15:30 (30分)	グループ研修（情報交換） 「各市町村における地域コミュニティ再生事業の取組」
15:30～15:35	諸連絡

◆ 9月2日（金）【2日目】

時 間	内 容
10:20～10:30	受 付
10:30～15:30 (240分)	講義・演習 「地域コミュニティ再生の起点としての公民館」 ～地域と行政を紡ぐ事業マネジメントの基本とは～ 講師 尚絅学院大学エクステンションセンター 特任教授 松田 道雄 氏
12:00～13:00	昼 食
15:30～15:40	閉講式

事例発表 I

「だがしや楽校『棚倉げんき塾』」
～2年目の取組～

棚倉町教育委員会生涯学習課

生涯学習係主事兼社会教育主事 古市 裕幸 氏

棚倉町についての紹介後に、平成27年度からスタートし、2年目を迎えた、だがしや楽校「棚倉げんき塾」についての発表をいただいた。

【「だがしや楽校」2年目の取組】

他の地域とのつながりや交流を深める。

【「だがしや楽校」のキーワード】

・気軽に ・無理なく ・楽しく ・おすけわけ ・自分みせ ・お互い様

【「だがしや楽校」のまとめ】

○体験から学んだものを生かして向き合う。

○何かをしたいという人の活躍できる場の提供。

○自主的に活動できる人を増やす。

○自分がいきいきと元気になる。

○個の活力が、町（地域）に広がる。



【参加者のアンケートより抜粋】

- 新しくて成功している事例で、大変参考になりました。今後も楽しみです。
- 参加者の希望・意見をもとにグループを作り、やりたいことを活動し、発表の場を作る方法は、ニーズに応える手法として大切と思いました。
- 持続性のある事業を行うためには、どのような工夫をするべきかということを考えさせられました。
- 事例研究ができました。大変勉強になりました。

文部科学省生涯学習政策局社会教育課

地域・学校支援推進室放課後子ども総合プラン連携推進室

連携支援係長

鈴木 秀彦 氏

あいさつ、自己紹介後に、新学習指導要領とこれからの社会教育について、講話をいただいた。

【新学習指導要領のキーワード「アクティブ・ラーニング」】

これからの教育は、地域社会を入れていく。→ 社会に開かれた教育課程

「何を学ぶか」と「どのように学ぶか」が、大切である。

【社会とのつながりや各学校の特色づくりに向けた課題について】

○地域と学校が認識を共有すること。

○社会に開かれた教育課程の実現のために

- ・地域の人的、物的資源の活用

- ・放課後や土曜日を活用した社会教育との連携

- ・目指すところを社会と共有連携

【実現するために何が必要か】「次世代の学校地域創生プラン」（H28.1月）

すべての公立学校がコミュニティスクールとなることを目指す。

社会全体で協力的に子どもの成長に関わっていくことが必要である。

【一億総活躍社会の実現】

次世代の学校・地域の創生



【参加者のアンケートより抜粋】

- アクティブ・ラーニングの手法を今後の学校教育・社会教育にいかそうとすることがわかりました。
- 学校教育と社会教育の関わりについて知ることができました。
- 内容が多かったが、分かりやすく説明していただいて良かったです。

国見町教育委員会生涯学習課

課長兼公民館長 羽根 洋一 氏

子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業の概略の説明の後、国見町の取組についての発表をいただいた。

【国見ジュニア応援団の目的】

- ・子どもが国見の良さや課題を学び、学んだことを情報発信し、地域を愛する児童の育成を目指す。

【国見ジュニア応援団の活動】

- ・国見の学習（国見を知る）をし、平泉町、ニセコ町、岐阜県池田町等で、PR活動をし、子どもの学びとする。



【参加者のアンケートより抜粋】

- 各省庁、県と関連した補助事業を、復興の機会となるよう、子どもの体験事業に生かしたことは、すばらしい努力があると思った。
- 子どもたちが復興のために、活動していることを知ることができて良かったです。
- この子たちが、リーダーとして旅立てるようになるといいですね。

グループ研修

「各市町村における地域コミュニティ再生事業の取組」

持参資料をもとに、テーマに沿った実践事例を発表し合い、成果や課題等を共有し、情報交換をした。



【参加者のアンケートより抜粋】

- 短い時間でしたが、各々の自治体での取組を知ることができました。
- それぞれの市町村での努力の様子が知ることができて良かったです。
- 県内市町村の様々な活動を知ることができました。
- とても楽しかったです。
- 社会教育委員が、公民館事業を企画・実施する上の貴重な話を聞くことができました。
- それぞれの取組が参考になりました。

尚絅学院大学エクステンションセンター

特任教授

松田 道雄 氏

「人々が自他共生の学びを育み、生き生きした地域生活を営んでいくための具体的な公民館活動を提案し合いましょう！」のテーマでグループごとに企画を考え、「カミシバイ方式」で発表し合う講義・演習が行われた。

【課題をつかむ】

○ 学習項目の内容

- ・ 人生を豊かにする学習、知識・技術を高める学習
- ・ 自分のことに関する学習（健康・仕事・余暇・家庭）
- ・ 人間関係・地域社会に関する学習（ソーシャルキャピタル）

○ 学習観の変化

- ・ 「人生の豊かさとは？」自分のため（利己活動）の追求か？
- ・ 「知識・技術は、誰のために高めるのか？」自分のためか？
- ・ 画一型、知識重視、会社人間 → 地域型に変換する学習

○ 公民館学習の本質

- ・ 近代自我（バラバラな個人が生きる空間）→公民館学習→自他共生（共助があちこち育まれる社会）

【課題を考える視点】

○ 情報発信（市民に伝わる講座案内を、大胆に工夫する。人の認知について、新聞広告などを参考にする。足を運び、人と出会い、まめな口コミをはかる。など）

○ 事業実践（すべての公民館活動に、話し合い親睦時間などを奨励する。サークルリーダー研修会を開き、話し合い活動を促す。など）

○ 繼続評価（地区人口の何%が公民館を利用したか？地区市民の学習関心調査。（どんな学びに関心あるか？）など）

○ しくみ（公民館の職員体制・役割・勤務のあり方。学校、学童、商店街、商工会、社協などとのつながり。など）

○ 公民館職員の仕事

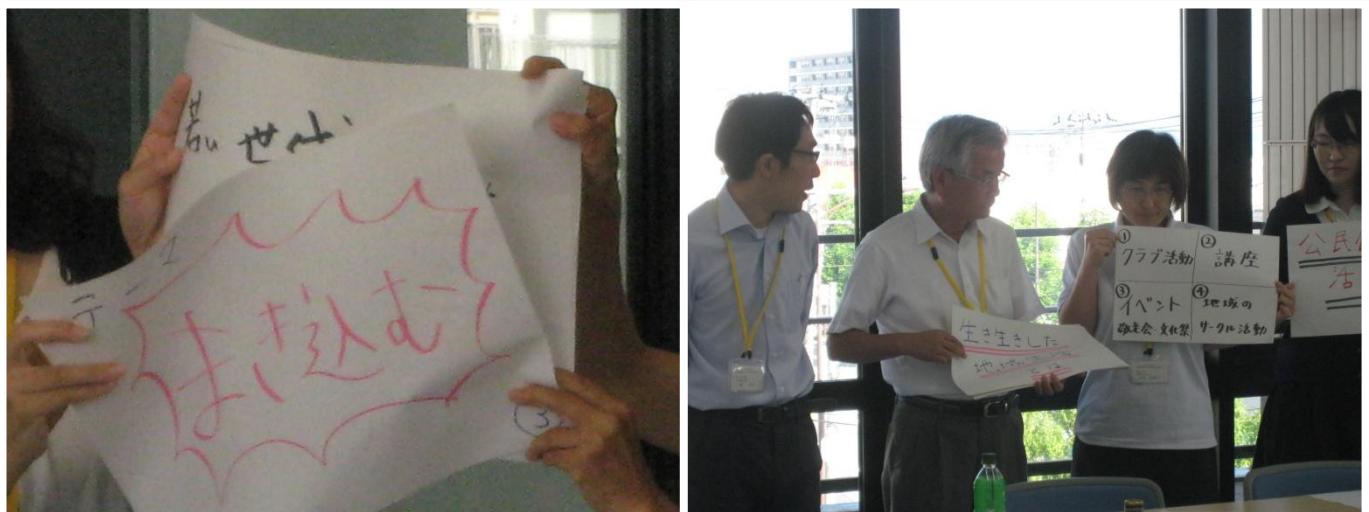
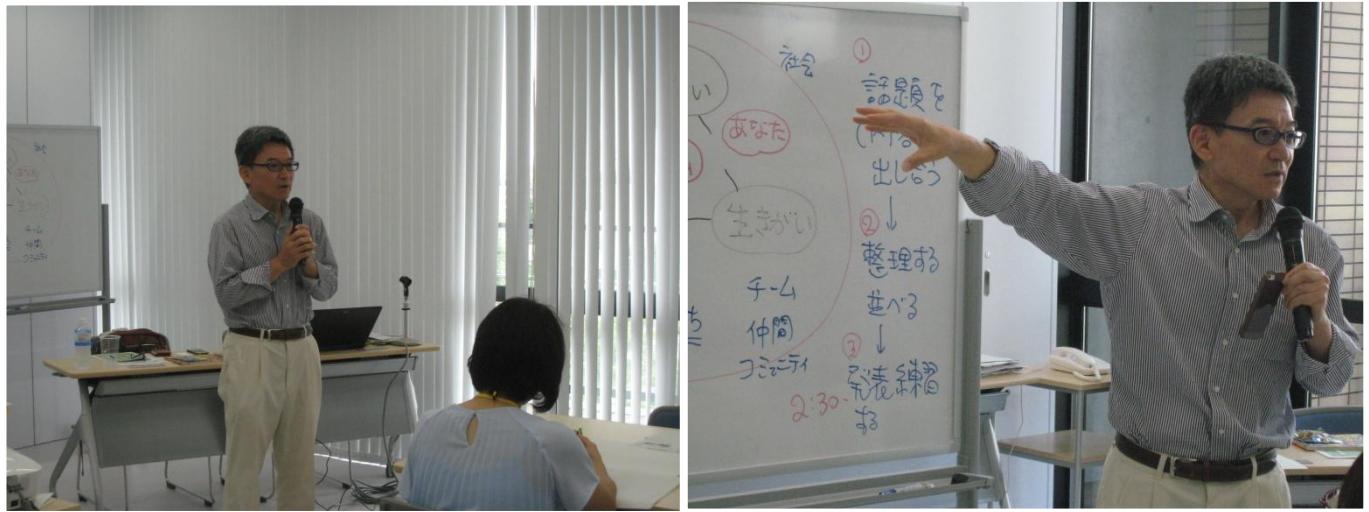
- ・ 公民館職員の仕事は、公民館内だけではありません。
- ・ 公民館と地域をつなぐ仕事こそ大切です。
- ・ 外（地域に出て、談義する営業企画職でもあります。
- ・ それが、人と地域をつなぐファシリテーターです。

【社会教育の研修】

○ 職員が行おう！

- ・ 社会教育関係職員の醍醐味は、単なる事務仕事ではなく、市民の様々な学びの活動プロセスに関わることです。

○ ファシリテーターになろう！



【参加者のアンケートより抜粋】

- 松田先生の講演、とても楽しかったです。
- カミシバイ発表は初めてでしたが、とても勉強になりました。
- 複数人で考えれば、ネタがたくさん出てくるので、職場でも、このような時間があれば、また新しい事業ができるのかと思いました。
- 公民館のあり方について、理論+実践（イメージづくり、カミシバイ）の内容で確認できました。このような、話し合い+作業の入った講座は多様な考えがわかり良かったです。
- グループワークを通して、自分自身が改めて社会教育の大切さや面白さに気づくことができて、とても貴重な経験になりました。
- 多数の考え、思いを聞けてよかったです。

参加者アンケートより（全体を通しての感想）

- 2日間を通して、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 2日目だけの参加でした。松田先生の講演は楽しいだけでなく、いろいろな事例を入れながらのお話でしたので、とても勉強になりました。すぐには無理ですが、今後の材料になつたらと思います。カミシバイ形式の班発表、本当に楽しかったです。
- 2日目の新しい演習の形を体験して、今後の社会教育推進のきっかけとなりました。公民館活動を通して、地域住民とのつながりを強くしていきたいと思います。
- 自分に足りない物や方法を学べたり、いろいろな情報交換ができたことがうれしかったです。ありがとうございました。また、学びたいです。
- 県内市町村から職員が集まって、研修を受ける機会はあまりないので、今回参加できてよかったです。情報交換やグループワークを通して、いろいろ学ぶことができました。
- 特に2日目の研修はとても勉強になりました。グループワークの方法も、次回、自分の事業でも生かしていきたいです。これから公民館運営の核となれるよう、研鑽を積みたいと思います。ありがとうございました。
- 社会教育のこれからのことについて考える機会となりました。
- 1日だけの参加だったが、大変参考になりました。2日間研修したかったです。

<参加者の皆様へ>

※ お忙しい中、本研修会に御参加いただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。御参加いただいた皆様からの貴重な御意見を参考にさせていただき、今後の研修の在り方や内容等の改善に生かしていきたいと思います。

(福島県教育庁社会教育課)